

電算処理方式申告、はじめて申告をする方

令和8年度

種類別明細書(全資産用・プレ申告用)

帳票識別コード	
申告区分	<input type="checkbox"/> 当初申告 ・ <input type="checkbox"/> 修正申告
処理方式	<input type="checkbox"/> 一般処理 ・ <input type="checkbox"/> 電算処理
申告書等送付番号	

所有者名	
	枚のうち
	枚目

行番号	異動区分 (注1)	資産の種類 (注2)	物件番号	資産の名称等	数量	取得年月 (注3)			元日取得 (注4)	取得価額 (注5)				耐用年数	減価残存率 (注7)	価額 (注6)		課税標準額 (注8)		増減事由 (注9)	摘要
						年号	年	月		十	百	千	円			十	百	千	円		
01	1	1		路面アスファルト舗装	1	5	7	5		3	000	000	10	0.					1		
02														0.							
03														0.							
04														0.							
05														0.							
06														0.							
07														0.							
08														0.							
09														0.							
10														0.							
11														0.							
12														0.							
13														0.							
14														0.							
15														0.							
16														0.							
17														0.							
18														0.							
19														0.							
20														0.							
小計																					

【異動区分】
1 増加
2 減少
3 訂正

【資産の種類】
1 構築物
2 機械及び装置
3 船舶
4 航空機
5 車両及び運搬具
6 工具、器具及び備品

【年号】
3 昭和
4 平成
5 令和

減価残存率・価額・決定価格・課税標準の特例・課税標準額欄は、電算処理方式申告(全資産申告)の場合、記載してください。一品ごとの増減申告の場合は、記載の必要はありません。

【増減事由】
1 新品取得
2 中古品取得
3 売却
4 減失
5 移動

注意1 「異動区分」の欄は、1 増加、2減少、3訂正 のいずれかの数字をご記載ください。
 注意2 「資産の種類」の欄は、1 構築物 2 機械及び装置 3 船舶 4 航空機 5 車両及び運搬具 6 工具、器具及び備品 のいずれかの数字をご記載ください。
 注意3 「取得年月」の欄は、3 昭和 4 平成 5 令和 のいずれかの数字をご記載ください。
 注意4 「元日取得」の欄は、元日(1月1日)に取得した場合には1をご記載ください。
 注意5 「処理方式」が「一般処理」の場合、「異動区分」が2減少の資産について、「(イ)取得価額」は減少後の「取得価額」(例)全部減少の場合は「0」が入ります)をご記載ください。
 注意6 「増減事由」の欄は、1 新品取得、2 中古品取得、3 売却、4減失、5移動、6その他 のいずれかの数字をご記載ください。